

第I 事業計画の概要						
1 事業者の氏名及び住所	氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	株式会社〇〇 代表取締役〇〇〇〇				
	住所	宮城県〇〇郡××・・・				
2 事業の目的	食品製造プラント等の排水処理施設においては、排水処理後の汚泥が搬出されるが、当該汚泥については、通常、排水処理施設に付帯する汚泥脱水施設により脱水処理される。このような排水処理施設の脱水処理施設において定期点検や故障などがあった場合で、脱水処理をしなければならないケースがあり、当社はこのような場合に対応するため、移動式の脱水施設を業として行おうとするものである。					
3 駐機場の所在地	宮城県〇〇郡××・・・					
4 実施場所	仙台市を除く宮城県内一円 (排出現場内に限る。)					
5 施設の種類	汚泥の脱水施設 (移動式)					
6 処理する産業廃棄物の種類	汚泥					
7 処理能力	汚泥	t・m <sup>3</sup> /時 ( 時間稼働により	t・m <sup>3</sup> /日)			
		t・m <sup>3</sup> /時 ( 時間稼働により	t・m <sup>3</sup> /日)			
8 処理方式						
9 処理フロー	別紙のとおり					
10 施設の配置	別紙のとおり					
第II 産業廃棄物処理施設を設置することが周辺地域の生活環境に及ぼす影響の程度を予測するために把握した水象、気象その他自然的条件及び人口、土地利用その他社会的条件の現況並びにその把握の方法						
許可申請時には施設の設置の場所が特定できないこと、及び稼働場所ごとに届出を提出することにより、記載は省略する。						
第III 産業廃棄物処理施設生活環境影響調査項目及び当該項目に含めなかった理由						
1 評価項目マトリックス						
調査事項	生活環境影響要因 生活環境影響調査項目	施設の稼働	廃棄物等の保管	施設排水の排出	廃棄物運搬車両の走行	施設からの悪臭の漏洩
大気汚染	粉じん					
	二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )					
	浮遊粒子状物質 (SPM)					
水質汚濁	生物化学的酸素要求量 (BOD)又は化学的酸素要求量(COD)	△	△	△		
	浮遊物質(SS)	△	△	△		
騒音	騒音レベル	○			△	
振動	振動レベル	○			△	
悪臭	特定悪臭物質濃度					
	臭気指数 (臭気濃度)又は臭気強度	△	△			△
○：環境への影響があると考えられる項目						
△：環境への影響は考えられるが、影響の規模が非常に小さいことから環境への影響が軽微であると考えられる項目						



2 バックグラウンドをゼロとしたときの騒音の環境基準, 振動の規制基準の基準を満足するための距離計算

距離 (m)											
騒音 (dB)	40	45	50	55	60	65					

距離 (m)											
振動 (dB)	55	60	65								

第VI 生活環境影響を回避するための保全対策 (1又は2のいずれかに○を付けること)

1 移動式汚泥脱水施設の稼働に当たっては、当該施設を設置する場所の敷地境界において、環境基本法(平成5年法律第91号)第16条第1項の規定に基づく当該施設の稼働する地域における騒音の環境基準及び振動規制法(昭和51年法律第64号)第4条第1項の規定に基づく当該施設の稼働する地域における振動の規制基準(以下「環境基準等」という。)を超えることのないよう、その場所に応じて必要な距離の確保を図るなどの環境保全対策を講じる。

2 1と同等以上と判断される環境保全対策を講じる。

(Empty space for additional measures or comments, enclosed in a large rounded rectangle)

第VII 産業廃棄物処理施設を設置することが周辺地域の生活環境に及ぼす影響の程度を分析した結果  
第VI章に記載の保全対策を講じることにより、環境に対する影響は軽微である。

第VIII その他の対策

(Empty space for other measures)